

2015/05/26

3D スキャナ利用のBIM 連携のシステム開発をプレス発表

弊社は、リニューアル施工の高品質化と省力化を目的として、3D スキャナ利用による撮影画像から BIM (Building Information Modeling) への連携による一連作業のシステム開発を進め、このシステム開発を活用したリニューアル施工について、5 月 26 日にプレス発表しました。

3D スキャナは、レーザーで全周囲空間の位置情報を計測することで、既存建物設備を点群データによりコンピュータ上に高精度で再現することが可能、得られた点群データを処理することで、BIM データに変換することや 3D の CAD 図面を作成することが可能となります。

今回プレス発表したシステム開発では、点群データから平面や円柱形状を自動で抽出できるソフトと BIM ソフトを連携させることで、現地調査から図面作成、リニューアル計画提案までの作業を限りなく自動化しつつ、CAD 図面の高品質化と一連の作業の飛躍的な省力化が可能となりました。

今後のリニューアル工事に対して積極的に実用展開すると共に、残された開発課題を解決する技術開発を進めて行きたいと考えています。

問い合わせ先 : 東洋熱工業株式会社

技術統轄本部 技術研究所 (開発責任者) 上谷 勝洋 TEL : 047-359-1033

技術統轄本部 技術研究所 (開発担当者) 三浦 貴広 TEL : 047-359-1033

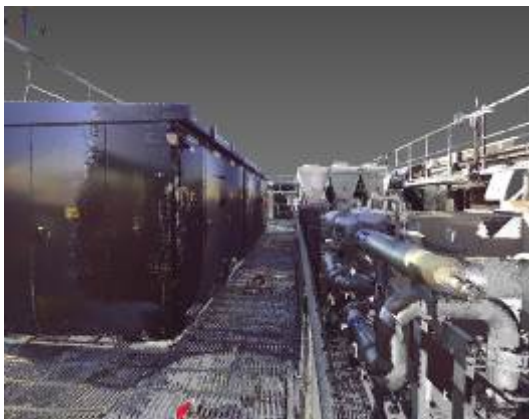
技術開発 WG 藤田 純一, 渡邊 秀夫



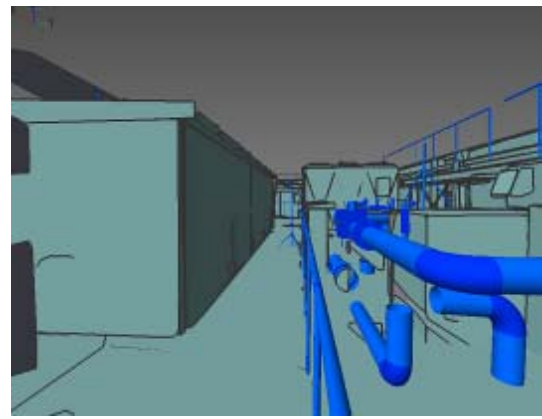
3D スキャナでの計測の様子



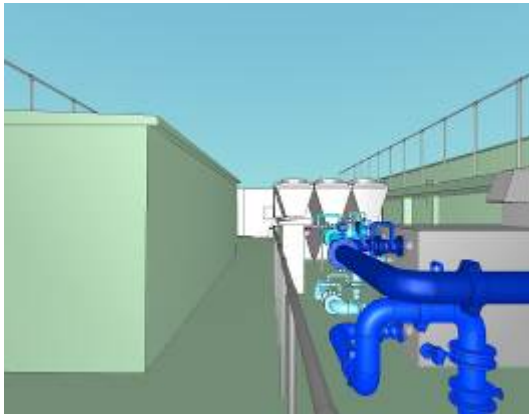
カメラ撮影画像



点群データ



自動抽出した 3D モデル



BIM ソフトで作成した BIM モデル

